

## TLC認定プラクティショナー 松枝 修 さん

### ■ いつ TLCの資格コースを受けましたか？

ちょうど会社を辞めた年に受けました。前職でコンサルティングにつながるようなエグゼクティブコーチングの立ち上げにかかわっていて、現状把握のために別のサーベイを使っていましたが、質の面で不満がありました。もっとしっかりとした考え方に基づくサーベイはないだろうかと思っていた時に、日本にTLC（ザ・リーダーシップ・サークル）が来ることを教えてもらい、受けました。資格コースは、理論やデータベース、相関係数等が出てくる講義なので、とても馴染みやすかったです。左脳系ビジネスマンには、非常にわかりやすいと思います。

### ■ LCP は、どのようなものだと感じていますか？

LCPは、エグゼクティブコーチングを行なう上で、非常に重要な道具の一つです。リーダーにとって一番大切なことは、「自分を知る」こと。たえず自分を振り返り、探求し続けることです。

LCPを一言で言えば、とてもインパクトのある「リーダーシップドッグ」です。他の360°サーベイでも、自分の強みや課題、自分と周囲とのギャップはわかりますが、それが全体でどういった位置づけなのか、しっかりした考えをベースにしているところに説得力があります。また、それぞれの項目がどう影響し合っているか、相関し合っているかがわかるのも魅力です。

さらに、自分の課題を自分の強みにどうつなげていけるかという成長のストーリーを描けるという点が他のサーベイとは違うところだと思います。

### ■ 具体的に 導入された話をうかがえますか？

これまで200人ほどの経営者やミドル層に対してLCPを導入しました。ある企業では、部下への当たりがすごく強い上司がいました。その人の想いを掘り下げていくと、「自分はもうすぐいなくなるかもしれないから、その時に部下が困らないようにしてあげたい」と考えておられました。しかし、部下からは「完璧主義、傲慢、独裁」というフィードバックがあり、そうした接し方を誰も喜んでいないし、想いを受け取っていないことがわかりました。良かれと思ってやっていたことが、そうではなかったことに気付いた瞬間、その人は意識、行動を180度変えることを決断されました。

## TLCプラクティショナー インタビュー

また、周りから期待されて昇格したミドルクラスの人が、最初にLCPを見た時に、ショックで結果を受け入れることができませんでした。中には、ポジティブなコメントがあったにもかかわらず、それらは目に入りませんでした。「時々サーベイを見ておいてください」と伝えて1か月位すると、「実は、良いことも書いてあるんですね。もう一度向き合ってみます」と言い始めて。1年後にもう1回サーベイを受けて劇的に結果が変わり、その人はやりがいを持って、チームのリーダーとしての自覚を高めたということもありました。

### ■ 今後のビジネスの展望は

エグゼクティブ・コーチングの価値を一言で言えば、「経営者の役に立つこと」です。特に、利他の精神のある志の高い経営者をサポートしたいという想いがあります。コーチングは、その手法の一つです。伝統的な日本企業のトップにコーチングが活用されることを願っています。これからの世界において日本型のリーダーシップが必要とされています。トップが変われば、会社が変わる——そこに貢献できればと思っています。

■これから資格認定と取得される/検討している方へ一言  
TLCは、クライアントとの距離を飛躍的に近づける道具です。特に、組織のリーダーにとって自分が周囲にどんなインパクトを与えているかを知ることは、共創して成果をうみだす上で必要不可欠です。

さらに背景にある考え方を理解することは、自分自身の仕事そして人生においてもとても役立つでしょう。

そして資格を取得されたらぜひたくさん活用してください。新たなサークルとの出会いが自分自身の成長にもつながります。

The Leadership Circle

〒135-0063

東京都江東区有明3丁目7番26号

| info@theleadershipcircle.jp

whttps://leadershipcircle.com/ja/home/



The Leadership Circle